

- 問1 石狩川はかつて、平野部で非常に激しく蛇行して流れており、大雨のたびに深刻な洪水被害をもたらしていました。この問題を解決し、土地を有効活用するために明治時代以降に行われた河川改修工事の内容と、その後の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 川の周囲に堤防として大規模な防風林を設置し、冬の北西の季節風による農作物への塩害を防ぐことで、畑作が中心の地域となった。 | 2. 川底を大幅に掘り下げて水深を確保する工事が行われたことで、日本海側から内陸部まで大型の貨物船が航行できる運河として整備された。 | 3. 川の流れをせき止める巨大な多目的ダムを平野部に連続して建設し、水力発電による電力を周辺のアルミニウム工場に供給するようになった。 | 4. 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。 |
|---|--|---|---|
- 問2 ある都道府県の統計データによると、「年間訪問者数が約2,133万人」「世界遺産登録数が1件」「空港の数が14か所」「新幹線の駅の数が2か所」となっています。この統計が示す都道府県名と、その交通網の特徴を説明した文の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている | 2. 奈良県：世界遺産の登録数は多いものの、内陸に位置し面積も狭いため、県内に空港は設置されていない | 3. 神奈川県：訪問客数は非常に多いが、羽田空港に近い県内に空港はなく、新幹線の駅は5か所設置されている | 4. 沖縄県：多くの離島を抱えるため空港の数は多いが、現在のところ新幹線は開通していない |
|---|--|--|--|
- 問3 夏の北海道東部の太平洋沿岸では、濃霧（海霧）が発生しやすいため、8月の日照時間が約127時間にとどまる釧路のように、札幌（約171時間）と比較して日差しが遮られる傾向があります。この濃霧を発生させる要因となる、北海道の東側を南下する寒流の名称を次の中から選びなさい。
(2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-------------|-------------|
| 1. リマン海流 | 2. 対馬海流 | 3. 千島海流（親潮） | 4. 日本海流（黒潮） |
|----------|---------|-------------|-------------|
- 問4 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。
(2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。 | 2. 知床半島では、流水がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。 | 3. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。 | 4. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。 |
|---|---|--|---|
- 問5 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。 | 2. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。 | 3. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。 | 4. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。 |
|--|--|---|--|
- 問6 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。
(2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 京都府 | 3. 奈良県 | 4. 東京都 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 北海道では、生産された生乳の多くが飲用ではなくバターやチーズといった乳製品の原料（加工用）として利用されています。このように、北海道で加工用としての割合が高い理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 北海道の気候は寒冷であり、冬場の生乳生産量が極端に減少するため、年間を通じて供給できる加工品に頼らざるを得ないから。 | 2. 政府の農業政策により、北海道産の生乳はすべて工業製品の原料として扱うことが法律で義務付けられているから。 | 3. 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。 | 4. 大規模な牧草地で飼育される乳牛から取れる生乳は、小規模農場のものに比べて水分量が多く、飲用には適さない性質を持っているから。 |
|---|---|--|---|
- 問8 北海道東部の太平洋沿岸地域において、夏の気候に大きな影響を与える「海霧」の要因となる、海流の名称と季節風の向きの組み合わせとして正しいものはどれか。
(2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|
| 1. 親潮（千島海流）と北東の季節風 | 2. 親潮（千島海流）と南東の季節風 | 3. 黒潮（日本海流）と北西の季節風 | 4. 対馬海流と南東の季節風 |
|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|
- 問9 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。
(2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間 | 2. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数 | 3. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積 | 4. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量 |
|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|
- 問10 北海道の工業出荷額の内訳において、製造品出荷額等のうち「食料品」の割合が突出して高く、かつ「パルプ・紙・紙加工品」の割合も13パーセントを超えるなど、他県に比べて高い水準にある地域はどこですか。
(2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 愛知県 | 3. 埼玉県 | 4. 静岡県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 日本国内で最大の小麦収穫量を誇る北海道において、生産効率を高めるために展開されている農業経営の特色として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている | 2. 温暖な気候を利用して、同一の耕地で年に2回異なる作物を栽培する二毛作が行われている | 3. 大消費地に近い立地を活かし、限られた土地で付加価値の高い野菜を作る集約的な農業が行われている | 4. 山間部の傾斜地に作られた階段状の畑を利用し、手作業を中心とした緻密な農業が行われている |
|--|--|---|--|
- 問12 札幌と東京の月平均気温および降水量を比較した際、札幌の気候的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。 | 2. 一年を通して月平均気温が東京よりも高く、12月から2月の降水量は東京より少ない。 | 3. 1月の平均気温は0度を上回るが、北西の季節風の影響で冬の降水量が東京より多くなる。 | 4. 夏の気温は東京と同程度まで上昇するが、冬は乾燥した北東の季節風の影響で降水量が減る。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。	かつての石狩川は全長が現在の約1.4倍もあり、非常に蛇行が激しい川でした。洪水を防ぎ、泥炭地の水を抜いて農地（水田）として利用しやすくするため、蛇行している部分をショートカット（捷水路工事）して流れを直線化する工事が進められました。これにより、水はけが良くなり、石狩平野は北海道を代表する米どころへと発展しました。工事によって切り離された蛇行の跡は、現在も各地に「三日月湖」として残っています。
問2	答え 1 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている	統計にある「空港数14」は全国で最多の数値であり、広大な面積を持つ北海道特有の指標です。沖縄県も離島のために空港数は多いですが、新幹線は走っていません。奈良県には空港がなく、神奈川県は新幹線の駅数が多いものの県内に空港はありません。北海道は広大な土地を結び航空網に加え、北海道新幹線の駅が函館近郊などに設置されていることが大きな特徴です。
問3	答え 3 千島海流（親潮）	北海道の東側の太平洋岸には、北の千島列島方面から冷たい海水が流れてくる寒流の千島海流（親潮）が通っています。夏の湿った空気がこの冷たい海面によって冷やされることで水蒸気が凝結し、大規模な濃霧が発生します。これにより、釧路などの地域では夏の日照時間が短くなります。
問4	答え 2 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。	知床半島は、2005年に世界自然遺産に登録されました。この地域は、冬に接岸する流氷がもたらすプランクトンを土台に、魚類、それを食べる海獣や鳥類、さらに陸上のヒグマへとつながる豊かな生態系が、高い密度で維持されている点が評価されています。東側には北方領土の一つである国後島が隣接しています。
問5	答え 4 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。	札幌は1869年に設置された開拓使によって、何も無い原野から計画的に建設された人工的な都市です。アメリカの都市計画や京都の条坊制を参考に、行政機能や居住区を効率的に配置し、交通の利便性を高める目的で格子状の街路が導入されました。これは、古い歴史を持つ都市が地形や防衛上の理由から不規則な街路を持つことが多いのと対照的です。
問6	答え 1 北海道	北海道は、明治時代以降の開拓という歴史的背景から、京都府や奈良県のような古都と比較して歴史的な建造物の数は少ない傾向にあります。その一方で、広大な土地と豊かな自然環境を活かした国立公園などの自然景勝地や、スキー場・キャンプ場といったレクリエーション施設が非常に多く、自然観光を中心とした独自の産業構造を持っています。
問7	答え 3 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。	生乳は鮮度が落ちやすく、液体であるため輸送コストもかかります。北海道は人口の多い関東地方などの大消費地から距離があるため、生乳のまま運ぶよりも、工場でバターやチーズに加工して保存性を高め、体積を減らしてから輸送する方が、経済的合理性が高いという背景があります。一方、都市近郊の酪農地帯では、新鮮さが求められる飲用乳の供給が中心となります。
問8	答え 2 親潮（千島海流）と南東の季節風	北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った空気が流れ込みますが、この空気が千島列島付近から南下してくる寒流の「親潮（千島海流）」の影響を受けることで冷やされ、濃い霧が発生します。この現象は、この地域の夏の気温が上がりにくい一因ともなっており、農作物の生育に影響を与える「冷害」の原因になることもあります。
問9	答え 2 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問10	答え 1 北海道	北海道の工業は、豊かな農水産資源を背景とした食料品工業と、広大な森林資源を活用したパルプ・紙・紙加工品製造業が主要な産業となっています。提示されたデータのように、これら2つの品目が製造品出荷額等の多くを占めるのが北海道の工業的特色です。埼玉県や愛知県は機械工業の割合が高く、この傾向には当てはまりません。
問11	答え 1 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている	北海道の農業は、他都府県と比較して農家1戸あたりの経営面積が非常に大きいことが最大の特徴です。特に小麦や大豆、てんさいなどの畑作においては、トラクターなどの大型農業機械を導入した「土地利用型農業」を行うことで、少ない労働力で広大な面積を管理し、高い生産性を実現しています。これにより、国内の小麦需要を支える重要な供給源となっています。
問12	答え 1 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。	札幌は高緯度に位置するため、一年を通して東京よりも気温が低く推移し、1月の平均気温は氷点下となります。また、日本海側の気候の特色として、冬に湿った北西の季節風の影響を受けるため、太平洋側に位置し冬に乾燥する東京とは対照的に、12月から2月にかけての降水量（降雪量）が多くなるのが大きな特徴です。